

2022 年度目標達成状況報告書（応用生物学部）

*自己評価は「S・A・B・C」の4段階で「S:十分満たしている、A:満たしている、B:概ね満たしている、C:満たしていない」

No.	評価基準		
1	年度目標	主たる目標「質を保ちつつ、応用生物学部志願者数を回復させる。」	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		A	
2	年度目標	就職に強い応用生物学部をアピールするとともに、さらに強力で就活を支援する。	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		A	
3	年度目標	大学院進学者数をさらに増やす。	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		B	
4	年度目標	応用生物学部の優れた研究をアピールする。	
	年度末報告	学部の自己点検 WG による点検・評価	
自己評価		S	
<p>【年度目標達成状況総括】</p> <p>「質を保ちつつ、応用生物学部志願者数を回復させる。」という主たる目標に対して、志願者数は増加したが、偏差値の向上には至らなかった。一方で、研究面や就職面においては、一定の成果を挙げ、高校生へのアピールもできたと考える。今後はこれらの面における実績をさらに充実させるとともに、それらを恒常的に発信する Web サイトとして学部ホームページを充実させることを徹底する。また 2024 年度からは専攻制からコース制へ移行するため、今後そのメリットをさらにオープンキャンパスや学部サイト、X (旧 twitter) などで発信する。</p>			

【2022 年度目標の達成状況に関する大学評価】（自己点検評価委員会）

年度目標 4 件は概ね達成されており、自己点検・評価は適正である。2023 年度は志願者数増加と平行し偏差値の向上、大学院進学者を増加させるための施策について引き続き検討をお願いしたい。